



内山隼人議員
(Think globally,
Act locally!)



資源を廃棄しない循環型経済モデル「サーキュラーエコノミー」への移行を

問 人間が地球上で持続的に生存していくために地球環境が許容できる限界を示したプラネタリーバウンダリーでは、9項目中6項目で限界を超えており、地球環境は危機的な状況に直面している。

私たち人間は、自然界の循環に本来存在しなかった数々の人工物を生み出してきた。それらは一つの役割を全うした後、人間が手をかけなければ次の役割を担うことができず、自然界では発生し得なかった廃棄物になってしまふ。大量生産・大量消費型の経済活動は、大量廃棄を生み出し、役割を失った廃棄物がもはや無視できない程度にまで影響を及ぼすようになった。何かが何かの資源として役割を持ち続け、廃棄物を生まない持続可能な経済モデルへの移行が世界的に求められている。

「めぐる」という意味のある字を市名に持つ匠瑛市こそ、循環型の経済モデルを積極的に目指すことで市のブランドディングになるとともに、過剰な消費活動によって資源や家計をすり減らしていくのではなく、モノとともに豊かさをめぐらせ、暮ら

しやすいまちをつくっていくことができるのではないかと。

答 「市長」循環型経済モデルの形成、サーキュラーエコノミーへの移行については、廃棄物の削減やリサイクル率の向上等、資源循環を促進することで環境負荷の軽減及び経済の活性化等に発展することから、非常に有効な取組であると認識している。

イノシシの増加と駆除隊員の減少を踏まえつつ有害鳥獣対策を

問 匠瑛市と近隣自治体の駆除委託費の状況は。

答 「農林水産課長」匠瑛市は22万円、銚子市は77万円、旭市は209万4,000円、香取市は40万円、多古町は64万8,000円、横芝光町は60万円。

問 駆除隊員の高齢の方は引退間近、現役世代はふだん仕事をし、休日も予定がある中で調整して駆除活動に参加している。

駆除の成果を上げていくには、国・県の補助金を活用して報償費という形で、テコ入れをする必要がある。近隣の報償費の導入状況は。

答 「農林水産課長」イノシシ1頭当たり、銚子市、旭市は1万円、香取市は1万2,000円、多古町は成獣1万2,500円、幼獣8,000円ということなので報償費を設けている。



増田清巳議員
(匠瑛風)



市街地の災害対策の強化

問 近年増加するゲリラ豪雨や市街地の宅地化により、脆弱化している都市機能の強化が必要であるが、国道とJRを横断する水路は40年以上改修されていない。対策は。

答 「市長」昨今の台風や集中豪雨に対して流下能力が不足し、中央地区で一時的な冠水が発生するため、既存道路側溝等の堆積物撤去等を行っている。道路改修の際には、排水勾配の能力の向上に努めている。抜本的な対策には、多額の工事費用と長い年月が想定され大変厳しい。

市営住宅の公園管理

問 市営住宅の公園について、もう少し管理できないか。

答 「都市整備課長」整備から40年以上経過しているが、近隣の住民が安心して集うことのできる公園の適正管理に努めてまいりたい。

体育施設の整備の遅れ

問 市民の健康増進のため、個人で利用できる体育施設は重要だと考

えている。

八日市場ドームのジョギングコースと通路のフィットネスの利用人数は約2人/日、旭市の施設は90人/日と聞いてちょっと悲しいと感じてしまう。八日市場ドームにトレーニングルームを設置できないか。

答 「生涯学習課長」現在、適したスペースがなく、設置は難しいと考えている。

問 のさかアリーナのトレーニングルームは本市唯一の施設だが、利用人数は2人/日程度。機器は老朽化し、破損している機器もあり、その対応は。

答 「生涯学習課長」軽微な修繕は早急に対応したい。

問 ウォーミングアップのための正式なランニングマシンは1台もない。機器の修繕や更新計画はどうか。

答 「生涯学習課長」利用状況や機器の状態を踏まえて関係課と調整したい。

問 八日市場ドームの洋式トイレは、全体の18%しかない。(全体38か所のうち、洋式7か所)

今では80%以上のトイレが温水洗浄トイレとのこと。節水の観点からも洋式は約半分の水で済むので改修してほしい。

答 「生涯学習課長」改修が必要と認識しており、実施時期について関係各課と調整したい。

問 ボルダリングやスケートボードは大変人気があり、設置を検討してほしい。

答 「生涯学習課長」安全性を考慮すると適したスペースがなく、設置は難しいと考えている。